

魚の城下町

みんなが主役のまち

国立公園50周年・世界遺産10周年記念事業
第53回 知床開き

ゴミリソングカー参加!!!

～羅臼中高生、知床開きでゴミ分別をアピール～



知床国立公園50周年！ 世界遺産10周年記念事業期間のスタート



節目の年にあたり

昭和39年6月1日に国立公園に指定され、平成17年7月に世界自然遺産に登録された知床は、今年の6月に国立公園になって50周年を迎えました。さらに来年の7月には世界遺産に登録されて10周年の節目となります。

このことを受けて、町では斜里町や環境省、林野庁、北海道と連携して、今年の6月から来年の7月までを「国立公園50周年・世界遺産10周年記念事業期間」として、様々なイベントなどを通して、内外に知床・羅臼をPRしております。



知床峠で事業開始宣言をする町長

すでに国立公園の指定日にあたる6月1日に、キックオフイベントとして知床峠の看板の除幕式が行われ、その場で脇町長が記念事業期間のスタートを宣言しております。また、同日の午後には羅臼小学校の多目的ホールで記念シンポジウムと銘打って「奇跡の海く地球でただひとつのRausu」が開催され、基調講演とパネルディスカッションを実施して、知床・羅臼の海の素晴らしさとそこに住む生き物の紹介をしました。また、これまでの知床の歴史を振り返った上で、これからの知床・羅臼のあるべき姿について、海の生き物を通じて3名のパネラーの方に語っていただきました。

今後も10月に開催が予定されている「国立公園指定50周年記念シンポジウム」や、来年の7月に計画されている「世界遺産10周年記念式典」など、たくさんのイベントを開催する予定ですので、皆さんもぜひ参加やご協力をお願いいたします。この節目に当たる時に、知床の自然環境の価値や、それを保全



していく意義を、改めて考えるきっかけにしていた
だければと思います。

特異な国立公園

さて、50年前の国立公園をめぐる全国の状況は、
観光振興の期待を寄せる地元の要望をきっかけに指
定されることが一般的でした。しかし当時の知床の
場合は例外的に、昭和28年に知床を調査した植物学
者による強い意見により、『原生的な自然景観の保
護』の必要性が訴えられて指定された特異な国立公
園でした。

50年が経過した国立公園の動き

昭和39年と言えば、東京オリンピックが開催され
た年であり、高度経済成長を象徴する年でした。地
元では、羅臼町から斜里町ウト口との間を、知床半
島をめぐる行き来する観光船の就航が開始されて
おり、知床半島先端の灯台が出来上がった年でもあ
ります。また、知床横断道路の工事が着工された年
であり、羅臼の中心街でNHKの放送が受信できる
ようになった年でもありました。

そんな状況から50年が経過して、今年で知床国立

公園は満50歳にな
りました。この50

年間には、知床横
断道路の開通、斜

里町と共に「知床

憲章」を制定、知

床財団への参画、

羅臼ビジターセン

ターの設置と、さ

らには移転しての

リニューアルオープンなどなど、国立公園に関わる

ことだけでもたくさんが出来事がありました。

世界自然遺産登録

そんな中でも、平成17年の世界自然遺産の登録は、
自然環境の保全関係では最も大きな出来事であつた
と思います。そして、国立公園の指定と、その後の
取り組みが世界遺産の登録につながっていきました。
今回は、その世界遺産の登録前後の動きや、登録
から今までの出来事を振り返ることで、これからの
知床の方向性を探ってみてみたいと思います。



羅臼小学校で行われた記念シンポジウム

訓練参加で防災意識の高揚を図る

平成26年度 羅臼町防災訓練



買受人組合の方々による避難訓練

災害想定

マグニチュード9.0の地震

羅臼町の震度は6弱

北海道東部沿岸に「大津波警報発令」

予想される津波の高さ4m



対策本部の様子

6月18日(水)に羅臼町防災訓練を実施しました。

町内会をはじめ、羅臼町内の全学校、全幼稚園や町内の福祉関係事業者、買受人組合、漁業協同組合、商工会などのほか、一般企業の参加をいただきました。また、関係機関として、海上保安署、陸上自衛隊第302沿岸監視隊、駐在所、消防署、診療所、建設業協会が訓練に参加され、総勢1,388名の参加者となりました。

今回の防災訓練は、午前10時40分に地震が発生し、午前10時43分に大津波警報が発令されたとの想定のもと、消防施設によるサイレンや、防災行政無線、エリアメールによる注意喚起を行いました。漁業協同組合では無線による漁船への注意喚起、海上保安署、陸上自衛隊第302沿岸監視隊では本部との情報伝達訓練、駐在所及び消防署では町内パトロ



春松地区合同の避難訓練



救急隊員による負傷者搬送訓練



体験実習館前での発電機と照明器具の試験



栄町地区の避難と非常食の提供

ール等の訓練を実施しました。

発電機・照明器具の試験、非常食の試食

各町内会では、避難場所への避難や、今年3月に整備した発電機と照明器具ならびに、昨年整備した災害用の衛星携帯電話の試験を町職員、施設管理者や町内会の方々と一緒に実施致しました。

また、町が計画的に備蓄している非常食を希望町内会に提供し、実際に避難された方が試食しました。

日頃からの訓練の重要性

春松地区では、幼稚園、小学校、中学校に加え、八木浜町内会が連携して春松グラウンド裏山への集団避難訓練を行い、建設業協会と診療所、消防署では3者が連携して、建設資材置場で負傷者が発生したとの想定で、役場経由での消防への通報訓練、救急隊による救急搬送訓練や診療所での負傷者受け入れ訓練を実施しました。

防災訓練は、町民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることが目的です。災害はいつ発生するかわかりませんので、災害時に備え、一時避難場所への避難経路やおよその所要時間を確認し、いつでも対応できるよう日頃からの訓練が大切です。

また、平成24年度に全戸配布しました羅臼町ハザードマップを今一度ご覧になり、災害時の避難場所の確認をお願いします。

防災訓練は、次年度以降も継続して実施したいと考えております。実施にあたっては、町内会や関係機関皆様の意見も踏まえた上で計画していきたいと思っていますので、多くの参加をお願いします。

参加された方々、ご協力をいただいた関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

らうすのがん事情

羅臼町のがん死亡の中で第1位!
(H21年~25年で33名が肺がんで亡くなっています)

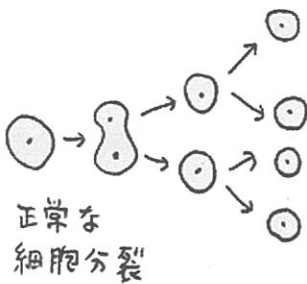
～肺がん編



そもそも「がん」って?

人体には、遺伝子の変異を防ぎ、修復する機能がもともと備わっています。しかし、ある遺伝子の部分に変異が起こり、無限に細胞分裂を繰り返し、増殖していく、それが「がん」です。

「がん」が増えている背景には、高齢化があります。「がん」は、細胞分裂での間違い、といえるため、寿命が長くなると間違いを犯す機会が増え、高齢者ほど「がん」が増えることとなります。

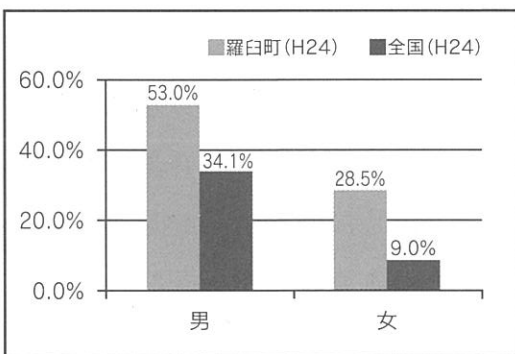


肺がん発症の最大のリスクはタバコ!

肺がんのリスクを考える上で、喫煙習慣を切り離して考えることはできません。日本人を対象とした研究では、喫煙者の肺がんリスクは非喫煙者に比べて男性4.8倍、女性3.9倍という結果が出ています。また、受動喫煙によって肺がんのリスクが高くなるという科学的根拠は、国立がん研究センターによる研究で、十分あると評価されています。

羅臼町の喫煙率は左の表のとおりとなっています。喫煙率が高いということは、自分がタバコを吸わなくてもタバコの煙を吸う機会が多い環境ということになります。

タバコの他に、環境汚染(アスベスト、シリカ、クロム、コールタール等)も科学的根拠は十分と評価されています。



禁煙の効果!!

禁煙をすることで肺がんのリスクを減らすことができるのは既にご存知かと思いますが、また、他にも、左の表に記載されているような体の変化があると言われています。「タバコをやめてみようかな」と思っている方がいましたら、1分でも早くタバコをやめる決断をしてほしいと思います。

禁煙すると
5年で肺がんの
リスクが
半分に!

禁煙開始から・・・

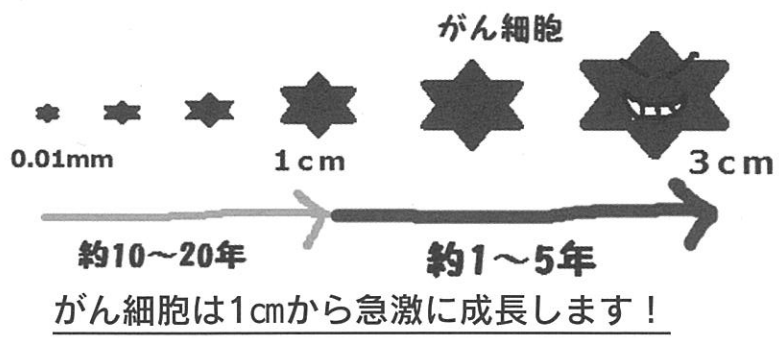
1分	たばこのダメージから回復しようとする機能が動きはじめる。
20分	血圧は正常近くまで下降。脈拍も正常付近に戻る。
8時間	血液中の一酸化炭素レベルが正常域に戻り、血液中の酸素分圧が正常化、運動能力が改善する。
24時間	心臓発作の確率が減る。
48時間	匂いと味の感覚が復活しはじめる。
48~72時間	ニコチンが体から完全に抜ける。
72時間	気管支の収縮がとれ、呼吸が楽になる。肺活量も復活しはじめる。
2~3週間	からだの循環機能が改善。歩行が楽になり、肺活量は30%回復。
1~9カ月	せきや静脈うっ血、全身倦怠感が改善される。
5年	肺がんになる確率が半分に減る。
10年	前がん状態の細胞が修復される。口腔や咽頭、食道、膀胱、腎臓、膵臓など、がんになる確率が減る。

肺がん検診で早期発見!

がん細胞が1cmの大きさになるには、10億個の細胞が必要で細胞分裂の数では、30回に相当します。この1cmが検査で発見できる最小のがんの大きさです。この段階になつてはじめて「がん」と呼べる病気になるのです。

早期のがん(2cm位まで)では、症状はないうことが普通です。

1cmのがんが2cmになるには、たった3回の細胞分裂(時間にして1年半)と短い期間です。ですから、1年に1回は検診を受けて、がんが小さいうちに発見することが大切です。(＊がんの大きさによって治療内容や治療後の生存率が変わります。)



肺がん検診ってどんなことをするの??

肺がん検診では、事前に送付した問診票に必要事項を記入していただき、検診当日にレントゲン検査を受けます。痛みはなく、短時間で済む検診となっております。

検診を受けてから、約1か月ほどで結果が出ます。



肺がん検診はいつに行けばいいの??

がん検診の受け方には二通りあります。

① 集団検診: あらかじめ決められた日に羅臼町内の一つの会場で開催する検診。

肺がん検診以外の各種検診も同時に受ける事ができます。羅臼町では総合健診として実施しています。(次回は11月15日、16日の土日に開催予定です。)

託児サービスも行っています。

② 個人検診: 自分の都合に合わせて医療機関に予約する検診。

羅臼町は知床らうす国保診療所、釧路がん検診センターと契約をしています。

羅臼町では、集団検診、個人検診にかかるがん検診費用を助成しています。

がん検診を受けたことがない方は、この機会に受けてみませんか?

問合せ先: 役場保健福祉課 保健師
TEL 07-1-2161

食べよう！野菜かんたんレシピ

～野菜1日350gを目標に～

今回は、ほうれん草をたっぷり食べられる和え物です。ほうれん草にはビタミンA・葉酸・ビタミンC・ビタミンE・鉄・食物繊維が豊富で貧血、便秘、風邪の予防に効果があります。ほうれん草をにら・小松菜などに代えてもおいしいです。

ほうれん草の香味じょうゆ和え



【1人分：野菜の量55g・カロリー32Kcal・食物繊維1.8g・塩分0.6g】

《材料》4人分

- ほうれん草 ……200g (1袋)
- 長ネギ ……20g (10cm)
- まぐろ水煮缶 ……20g
- 生姜すりおろし ……少々
- a しょうゆ …大さじ1杯
- 白いりごま ……少々

作り方

- ① ほうれん草はゆで、水分をしっかりと絞って3cm長さに切る。
- ② 長ネギはみじん切りにします。
- ③ aの調味料を混ぜ合わせ、ほうれん草・長ネギ・まぐろ水煮を入れ箸でよく和えて出来上がり。



《お問い合わせ》役場 保健福祉課 栄養士 87-2161

子育て情報ひろば ～すくすく～



歌に合わせて手遊び♪
とっても上手でした♪

すくすく広場に遊びに来ませんか？

今回は、子育て支援センターありんこで開催される「すくすく広場」のご紹介です。

「すくすく広場」は、0歳～1歳のお子さんを対象に開催しています。(妊婦さんの見学も受け入れてあります)

★7月・8月・9月の子育てに関する情報♪

☆ありんこが会場 ☆公民館が会場 ※役場が会場

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 7月28日 ★ありんこ計測 | 9月 1日 ★ママの日♪ |
| 7月31日 ☆離乳食教室 | 9月 3日 ★羅幼訪問 |
| 8月 1日 ★すくすく広場 | 9月 5日 ☆ふれママスクール(ママごはん) |
| 8月 4日 ★ママの日♪ | 9月 5日 ★すくすく広場 |
| 8月 7日 ☆ふれママスクール(マタニティライブ) | 9月11日・12日 ☆2歳児健康相談 |
| 8月 8日 ★絵本読み聞かせ | 9月17日 ★おまつりごっこ |
| 8月22日 ★ふれママスクール(手作り絵本) | 9月18日 ☆ふれママスクール(Baby'sグッズ) |
| 8月22日 ★のびのび遠足 | 9月25日 ☆ちいさな子のおはなし会 |
| 8月27日 ※ふれママスクール(お産のススメ) | 9月26日 ★のびのび広場&絵本読み聞かせ |
| 8月27日 ★春幼訪問 | 9月29日 ★ありんこ計測 |
| 8月28日 ☆離乳食教室 | 9月30日 ☆離乳食教室 |

“すくすく広場”の日の1日の流れ

- 9:30 ありんこスタート
○ホールで自由あそび
- 10:30～ “すくすく広場”スタート♪(和室)
○お名前の点呼、絵本の読み聞かせ
○親子でふれあいあそびなど…
- 11:00～ “すくすく広場”終了
終了後、ホールに戻って自由あそび
- 11:30 帰りのあいさつをして終了♪

次回のすくすく広場は8月1日(金)です☆

～みんなで育む・みんなの診療所～

開所2周年を迎えて

診療所開所2周年を迎えて

当診療所は7月1日で開所2周年を迎えました。平成24年に羅臼町の建物を社会医療法人孝仁会が運営する「公設民営」の診療所として発足し、一般病棟14床を備え、第一次救急医療を担っています。開所当初から併設施設として「知床らうす通所リハビリセンター」を同じ法人内で運営し、羅臼町の保健・福祉・医療の中核として地域医療を行っています。平成24年10月には透析室を開設し、これまで中標津や釧路に通院していた患者様が地元で透析を受けられるようになり通院の負担を減らすことができたという実感があります。医療サービスを充実させられるよう予防接種や健康診断などの「保健予防活動」、訪問看護・訪問診療などの「在宅医療」を実施し羅臼町民の高齢化に備え活動しています。

今年2月には「包括ケア推進連携室」を開設し、これまでに以上に「保健予防活動」「在宅医療」の充実を図り、羅臼町で働いてくれる医療職確保のための「地域人材育成活動」、町民の皆様へ診療所の活動を知っていただけるよう情報発信をする「広報活動」、そして連携室の名前にもある通り「包括ケアの推進」を目的としています。包括ケアとは町民と診療所、役場のみならず町の福祉施設などが連携・協力し、共により良い医療・福祉サービスを創造する一種の「まちづくり」です。その「まちづくり」のために各施設が連携できるように「仕組みや場をつくる」。そして医療・福祉サービスの「創造を支援する」。まちづくり

のサポートが包括ケア推進連携室の一番大きな仕事です。

知床らうす国保診療所は医療・福祉の立場からまちづくりに取り組んでいます。まだまだ改善すべき点があります。これからも医療・福祉サービス充実に向け、頑張っていきます。

手塚誠所長の勇退

町民の皆様はもうすでにご存じかもしれませんが、手塚所長は旧診療所時代から約4年間勤務し、羅臼の医療を支えてくださいました。この度勇退することになりました。患者様のみならず我々職員のことにも気遣ってくださいました。とても寂しくはありますが、今までの感謝の気持ちと共にこれからの活躍を祈っております。

8月からは常勤医が田川医師のみとなります。これまでの常勤医2名での診療よりは待ち時間がかかる恐れがありますが、職員一同頑張っておりますので、ご協力をお願いいたします。



知床らうす国民健康保険診療所

87-2116

なお、診療所についてなにかご意見がありましたら院内に意見箱を設置していますので投函いただきたく思います。貴重なご意見をお待ちしております。

第70回日本ユネスコ全国大会in知床の開催

すでに新聞等でも報道されていますが、6月7日、8日の両日、斜里町公民館「ゆめホール知床」において、「第70回 日本ユネスコ運動全国大会in知床」が開かれました。

この大会では、中国や韓国からの参加者も含めて全国から700名近くが知床の地に集まりました。

大会のテーマは、「持続可能な社会の構築をめざして〜知床に集おう！ユネスコの英知〜」というものです。世界遺産登録地知床において、日本中のユネスコ運動関係者が集い、持続的な自然環境の利用と人類社会の発展のために私たちが何をすべきかについて論じ合いました。大会は、昨年、羅臼高校において中高合同講演会の講師を務めた石弘之先生が「地球環境の変化と人間社会の未来」というテーマで基調講演を行い、続いて4人の研究者によるパネルディスカッション、最後に羅臼、標津、

斜里、清里の4つの高等学校の代表生徒によるミニシンポジウム「ユネスコスクール若者のつどい」で締めくくられました。

羅臼高校からは生徒会役員や自然環境科目を選択している生徒6人が参加、海岸漂着物の分析の結果と考察について発表しました。調査の結果を発表するだけでなく、

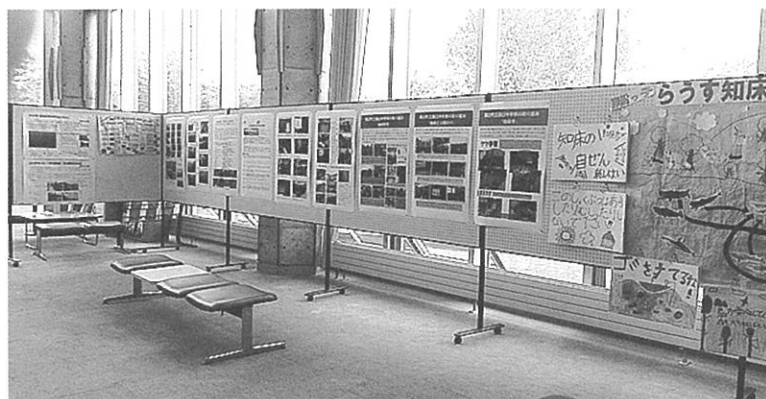
ゴミの中の1割近くを占めるペットボトルを無くすだけでゴミを大幅に減らせること、自分たちも学校生活でペットボトルを減らす努力をしていきたいことなどを提言し参加者の共感を呼んでいました。標津高校は自然環境類型の学習について、斜里高校は「知床自然概論」の学習内容のことを、清里高校はニュージールランドへの短期留学から学んだことをそれぞれ発表しました。また、発表の後、互いに意見や感想の交流などもありました。

参加者の間からは「若い高校生

が、知床の環境や産業の未来について真剣に考えている姿を直に見ることができ、頼もしく思えた」という感想が異口同音に聞かれました。

また、4つの高校の生徒が、このような形で一堂に会するのは、初めてのことで、互いに交流を深めて、参加した生徒たちは視野を広げることができました。

一方、幼稚園から高校まですべての学校がユネスコスクールに加盟している羅臼町では、各学校・幼稚園ごとにユネスコスクールとしての学習活動を紹介するポスターを作成し、会場ロビーに展示しました。この展示は、強い関心を受け、非常に高い評価を受け、展示内容を自分の地元を持って帰りたいので、小型化したパンフレットを作って欲しいという要望も複数寄せられていました。



学習活動をポスターにしたものを展示した会場ロビー



羅臼高校生による発表



展示テーマ

こは知床・羅臼町

海・山・生き物たちの本展示中



- 「Newtonパノラマガイド世界遺産知床」
- 「海と森のドラマ知床」
- 「北海道の動物たちはこうして生きている」富士本寿彦写真・文
- 「エゾシカは森の幸」北海道新聞社
- 「DVD世界遺産シリーズ知床」ほか40冊



公民館図書室では、羅臼町内で撮影された写真集や、雑誌の特集号、動物の生態をまとめた本などを展示しています。随時貸出もしていますので、ぜひお立ち寄りください。

思いがけない本の発見があるかもしれません。

公民館図書室入口前

北海道ネーチャーマガジン「モーリー」各特集号
 「クジラ物語(2号)」 「知床限りなき生命の輪(10号)」
 「知床、その後 世界遺産登録は何をもたらしたか(14号)」
 「海洋哺乳類と共に(23号)」 「ヒグマ考(13号)」
 知床財団自然情報誌「SEEDS」バックナンバー

おすすめ

関屋先生最新作を寄贈

寄贈

女性連主催の防災講演会(6月19日)講師山下和敏氏より、会場でしか読めなかった原女子力災害派遣の「日記」が寄贈されました。



「北加伊道(ほつかいどう)」松浦武四郎のエゾ地探検 関屋敏 隆文・型染版画 ポプラ社

生涯「曲がり角のその先に」
 「村岡花子の世界 赤毛のアンとともに生きて」「アン」のゆりかご 村岡花子の生涯「曲がり角のその先に」

話題の本

現在NHKで放映中！
 朝の連続ドラマ「花子とアン」村岡花子関連図書

新刊

人気作家最新刊なども続々！

「虚ろな十字架」東野圭吾著

公民館図書室は登録すると0歳から誰でも無料で利用できます。



城下町のわだい

みんながまちづくり

5月30日(金)

知床の環境保全活動のために



北海道コカコーラボトリング株式会社（佐々木康行社長）より町内の自動販売機の売上金の一部

「351,340円」を知床・羅臼まちづくり基金の「知床の自然保護・保全に関する事業」に寄付していただくことになりました。

今年で国立公園50周年、来年は世界自然遺産10周年を迎えることに佐々木社長は「ささやかではあるが、自然保護のために使っただけのことを社員全員で喜んでいい。自分たちもできることを継続していきたい」とお言葉をいただきました。継続的に頂いている寄付金の額は7年間で「2,356,797円」となりました。



6月8日(日)・9日(月)

世界の三國が羅臼に！



北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会主催による「三國清シェフ in 知床らうす」が公民館で開催され、会場はほぼ満席となり大盛況でした。三國シェフには「羅臼昆布・うに大使」就任式後、「知床が育む食の魅力」と題

して講演をして頂き、世界中で高まりをみせている食育について、全国の学校での実例を挙げ、「人の味覚は12歳までに形成される。味覚を豊かにするためにも学校給食を充実してほしい。」と語りました。

その後羅臼の食材を使い、「うま味ジュレ」の調理実演をし、来場者全員に試食のサービスが振る舞われました。講演会終了後には根室内の飲食店向けに技術講習会が行われ、三國シェフのアドバイスを受けられる貴重な時間に参加者は真剣な目つきで受講していました。

また9日には、昨年の高校生チャレンジグルメコンテストで優勝し、今年もコンテストに向け試行錯誤されている羅臼高校の生徒を対象とした特別授業が行われ、三國シェフが「世界の三國」よばれるまでの、半生を聞いて刺激をうけたようでした。授業では急きょ質問コーナーが設けられ、様々な質問に三國シェフが一つ一つ丁寧に答える姿が印象的でした。これを機に羅臼の食が、より注目されると嬉しいですね。



町では協働のまちづくりを推進しています。ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

6月14日(土)・15日(日)

華麗な舞で祭りスタート!

第53回知床開きが羅臼漁港を会場とし開幕されました。

祭り当初は天候が怪しまれましたが、無事午後4時より中高生によるよさこい「豊漁の舞」

が役場前をスタートしました。夜には綱引き大会で盛り上がりを見せ、伝統芸能のいぶき樽、歌謡ショー、花火大会が行われ、翌日は町民による千人踊り、芸能まつり他、たくさんの催しで賑わいをみせ、飲食コーナーでは炭焼きの焼きホッケ、つぶなどで来場された方たちが舌鼓を打っていました。



6月19日(木)

女性の力が支援の源に!

羅臼小学校多目的ホールにおいて、平成26年度羅臼町女性団体連絡協議会町内研修兼管内女性大会

が行われました。今回は「防災を考える」をテーマに、自衛隊帯広地方協力本部長山下和敏一等陸佐をお招きし、東日本大震災の救援活動時の映像を映しながら、災害時において男性では難しい女性ならではの災害支援のあり方についてお話ししてくださいました。

参加された方々は、入浴援助や高齢者のメンタルケアなど報道では注目されにくい後方支援活動に耳を傾けていました。



6月19日(木)

一日社会人を体験 ～羅臼高校生職場体験学習～



羅臼町内の28事業所のご協力の
下、インターシップ(職場実習)が
行われました。

この体験学習は毎年行われており、今回は
2年生を対象に実施されました。

羅臼幼稚園には3名の女子生徒が幼稚園児
の中で実習を体験しており、年少を担当した
清野姫菜^{ひな}さんは「思っていたより大変、元々
子どもと接することが好きだったから羅臼幼
稚園にインターシップに連れてよかったで

す。」と感
想を語って
くれました。



6月20日(金)

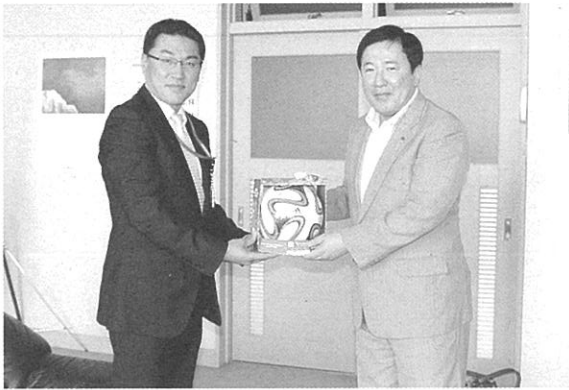
羅臼郵便局がサッカーワールドカップ レプリカボールを羅臼小学校に寄贈



去る6月20日、羅臼郵便局より
地元の小学校との繋がりを深めよ
うと今回開催されましたサッカー
ワールドカップブラジル大会で使用されたサ
ッカーボールのレプリカが贈られました。

羅臼郵便局高原局長は、「将来、羅臼小学
校を卒業した生徒が、日本代表に選ばれワ
ールドカップの場で活躍されたら嬉しいです
ね」と申され、それに対して羅臼小学校横澤
校長は「子どもたちも大変喜ぶと思いま

す。」と感謝
を述べており
ました。



6月26日(木)

みなさんと行政の 橋渡し役として



北海道管区行政評価局(茂垣栄
一局長)より、大口茂氏(共栄
町)に、北海道管区行政評価局長

感謝状が授与されました。

平成23年度より羅臼町の行政相談委員とし
て行政が行っている様々な仕事や手続き、サ
ービスなどに対する相談を受け活動されてき
た実績が認められ、今回の感謝状の贈呈とな
りました。

「みなさんの行政に対する疑問や要望があ
れば気軽に相
談していただ
ければ。」と
話す大口氏。
今年度も町内
の団体の集会
に出向き、相
談の場を設け
る予定とのこ
とです。



6月29日(日)

オール羅臼で清掃活動



ぐずついた天候の中、天狗岩周
辺から相泊までの海浜地を町民、
漁業協同組合、観光協会、(有)知床

ダイビング企画等、オール羅臼で協力してゴ
ミ拾いが行われました。

一人一人がゴミ袋を持ち、割り当てられた
区域のゴミを拾い集めていきました。中には
不法投棄と思わ
れるゴミや、漁
具などもありま
した。こうした
清掃活動が行わ
れない、常にき
れいな街になる
といいですね。
回収したゴミは、
今後種類や量を
集約し、ポスタ
ーとして掲示予
定とのこと。



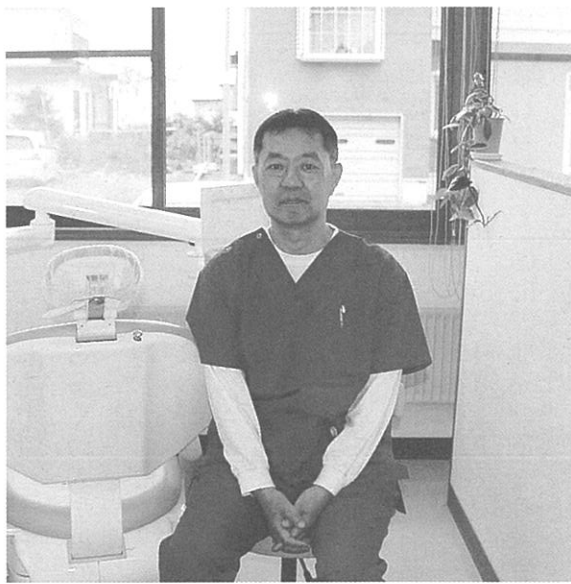
7月4日(金)

麻布歯科診療所医師が 2人体制に



麻布歯科診療所では、大沼良之
先生を迎え6月2日から2人体制
になりました。

大沼先生は、「一般診療の他に、他の歯科
とも連携を図りながら訪問歯科を積極的に行
って、町の介護施設の方や寝たきりのお年寄
りの方々に本来の食べることの喜びをもう一
度味わっていただくために、少しでもお手伝
いできたらと思っています。」と話してくれ
ました。



7月8日(火)

有限会社川上水産 紺綬褒章を受章



平成25年8月に羅臼町「知床・
羅臼まちづくり基金 中学校建設
事業」に対し、多額の私財を寄附

していただいたことに対し授与されました。
おめでとうございます。

代表取締役である川上昭一氏は「公益に対
する私財の寄附は初代社長の想いでもあり、
会社設立50周年を迎え、催事に代わり寄附を
した。一日も早く新校舎を建設し、子ども達
の教育の環境整備に役立ててほしい。」との
ことでした。



情

BAIBU TOWN

報ひろば

INFORMATION

北電からご家庭における節電のお願い

節電の期間・時間帯

7月1日(火)～9月30日(火)
※お盆(8月13日～15日)期間を除く。

平日9時～20時

特にご家庭においては、電気のご使用が増える夕方以降（18時～20時）の時間帯のご協力をお願いします。

なお、この夏の需要として見込んでいる定着節電量の水準（2010年度比：▲7.1%）を目安に節電をお願いいたします。

ご協力いただきたい電気製品

照明、冷蔵庫、テレビなどを中心に、普段からお使いの電気製品について節電のご協力をお願いします。また、外出の際には待機電力などの削減もお願いします。

ご家庭において夏の20時頃、在宅世帯では平均で約700Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約7割を占めています。

外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約200Wの電力を消費しています。

ご意見ありがとうございました。

こんにちは。7月になり北の国もいよいよ観光シーズンで全国から多くの方が世界遺産の知床を訪れると思います。

観光も、そして温泉の好きな人もいっぱい来ることでしょう。

先月6月25日～28日と九州より、「温泉大好きクラブ」のメンバー14名で知床・岩尾別温泉地の涯、羅臼温泉、瀬石温泉、相泊温泉など見学して、熊の湯温泉にワクワクしながら入浴を楽しみに来たのに、地元の2人の入浴者がいてこの2人がこの温泉はおらが温泉だ、よそから来た者は入浴するなというような、とてもひどい態度で入浴が出来なかったのです。

私達はチャポンと湯に浸かり、1～2分出て帰りました。

こんなひどい目に遭ったのは初めてでした。とても残念でした。

こんな人が今も居るとは悲しいですね。



寄付・寄贈 ありがとうございました

知床・羅臼まちづくり基金

【知床の自然保護・

保全に関する事業】

ダイキン工業株式会社 様

【中学校改築に関する事業】

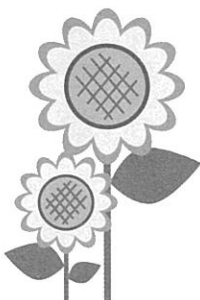
嶋倉 勇 様

有限会社 中谷漁業部 様

加藤 隆 栄 様

（平成26年5月1日）

平成26年7月4日受付分掲載



TAXコラム

(税務財政課通信)

「町税及び国保税の納税は、お済ですか？」

平成26年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済ですか？

納期限を過ぎて納税しますと、督促手数料、延滞金などが加算されますので、納期限内に納税するようお願いいたします。

また、納期限内に納税されない場合は、不動産、自動車、預貯金、給与、生命保険等の差押えの対象となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「一度に納税できない場合は、納税相談を！」

なお、一度に納税できない方は、分割納税などの納税相談を行っておりますので、気軽にご相談ください。

また、休日や夜間窓口も随時開設しておりますので、ぜひご利用ください。

「納税は、便利な口座振替で！」

町税等は、銀行などの預貯金から口座振替の方法で納めることができます。

口座振替を利用されますと、わざわざ納期ごとに金融機関や役場にお出かけいただくことなく、自動的に預貯金から振り替えられます。

手続きは簡単ですし、一度のお申し込みで翌年度以降も自動的に継続されます。

詳しくは、役場税務財政課までお問い合わせください。

＜お問合せ先＞ 役場税務財政課 TEL 87-2113

赤ちゃん誕生

(敬称略)

(掲載はいずれも平成26年5月16日～平成26年7月15日受付分)

おくやみ申し上げます

(敬称略)

(掲載はいずれも平成26年5月14日～平成26年7月15日受付分)

羅白いさり火吟社

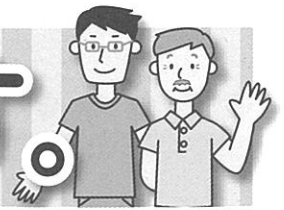
蝶一羽運ばれていく蟻の道
細き骨箸から箸へ夏椿
一仕事終えて大空仰ぐ蟻
つづみ草杖引く夫に手を添えて
羅や女を捨てぬ薄化粧
羅に折り目正しき老女かな
父の忌や羅の装う三姉妹

悠泥英鹿羅日千
羅舟美山牛奈帆

6月例会句
平成26年6月

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。
〒086-1183 羅白町礼文町
羅白いさり火吟社事務局 小野寺千鶴枝 (電話0153-87-1256)

親子で頑張っています。



第二回 ほまれ 誉塗装工業 工藤 まさはる 雅春(57歳) けいたろう 佳大郎(29歳)さん親子

今回は塗装業を営まれて
いる親子の方達をご紹介します。

「お店は何年に開業したの
ですか？」

(お父さん)
平成5年、36歳の時に開業
しました。

「誉塗装工業という名称が、
つけられた経緯を教えてください。」

(お父さん)
いくつかの候補の中から、
「誉」は縁起が
良い字ということを選んで
つけました。

「塗装業という仕事のやりが
い、魅力はどんなところですか？」

(お父さん)
新しい塗料が次々と増える
からね。常に新しいものを
取り入れるから、日々勉強
だね。

「昔から実家の塗装業を継ぐ
つもりではいたのですか？」

(息子さん)
専門学校を卒業して、札幌
で塗料販売の営業を5年ほ
どしていました。そして徐々
に父の仕事、塗装業自体に
より興味をもったので、羅
臼にもどることにしました。

「息子さんから実家で働く
きたいときは、どう思いま
したか？」

(お父さん)
反対しました。景気も悪く
なっていたし、やっぱり札
幌で勤めていたほうがね。

「息子さんと一緒に働いて、
改めて息子さんの仕事ぶり
はどう思いますか？」

(お父さん)
まだまだこれからだね。一
人前になるには4〜5年か
かるね。

「仕事の難しさ、お
父さんの凄さを実感
するときはどんな事
ですか？」

(息子さん)
仕事のすべてに
おいて綺麗に仕上げた
ものは綺麗に仕上げた
お父さんの仕事ぶり
と同じ道具をつかっ
ても全然違う。技術は
経験から得る技術は
すごいですね。

「息子さんと一緒に
働いて、気づいた一
面はありますか？」

(お父さん)
友達が多くいたこ
とだね。人との繋
がりが必要な仕事

「だから、これか
ら大切にしてい
たい。」

「最後にお互いに向
けて一言お願いしま
す。」

(お父さん)
これから人のつ
ながりを大切にし
て、早く技術を身
につけてほしい。

(息子さん)
引退するまで、勉
強させてください。



羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。

編集後記

4月から広報の担当になりました新人です。記事の作成に悪戦苦闘の毎日ですが、皆さまに様々な情報をお届けできるよう頑張りますので、取材の際はよろしくお願ひします。

人の動き

平成26年6月末現在 ()内は平成26年4月末対比

人口	5,652人	(- 2)
男	2,804人	(0)
女	2,848人	(- 2)
世帯	2,187世帯	(+ 5)



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす平成26年7月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
http://www.rausu-town.jp/